

V3.7 アップデート内容

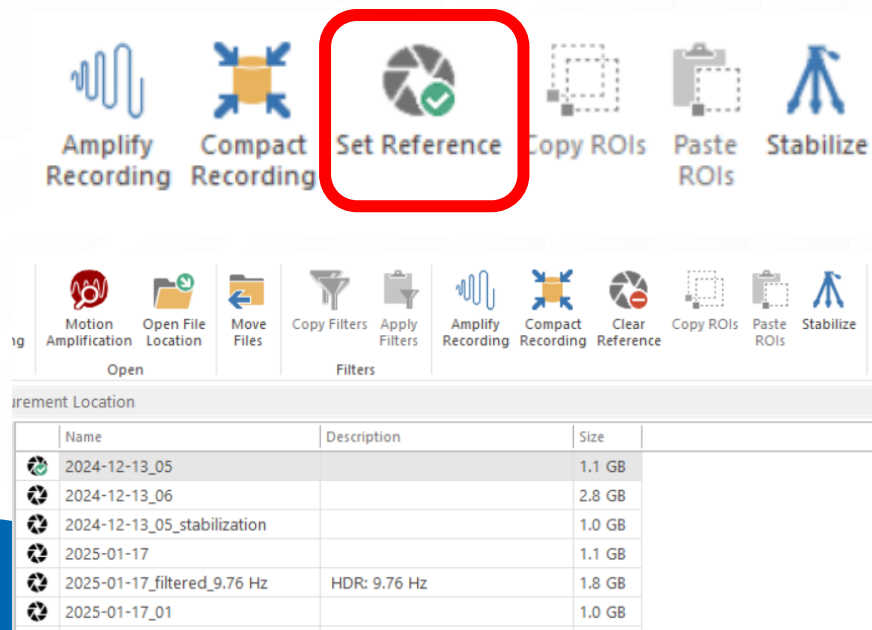
2023年9月更新

カメラオーバーレイ機能

カメラオーバーレイを使用することで、複数回の測定において、類似するカメラ視野を確認できます。
これにより、カメラと三脚を同じ位置に設置し、以前撮影した視野で繰り返し測定できます。



Collectionの代わりに**Measurement Location** を作成することもできます。**Measurement Location** を使用すると、別の日に撮影する際、以前撮影した同じ角度と距離を保存できます。

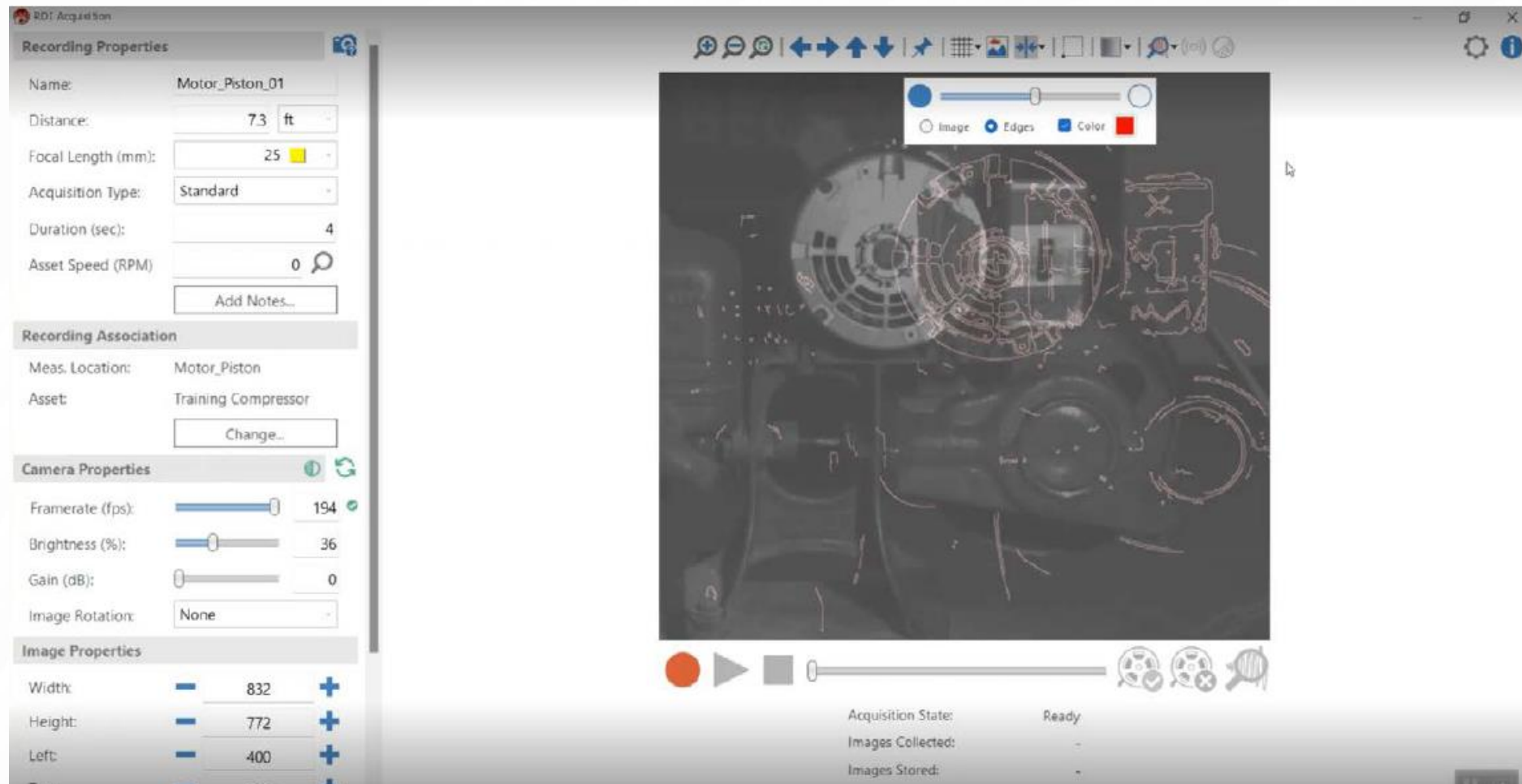


Measurement Locationで保存したデータを選択すると、ツールバーに左図のアイコンが追加されます。

カメラオーバーレイ機能

撮影画面で基準とした映像の透過画像が表示されます。

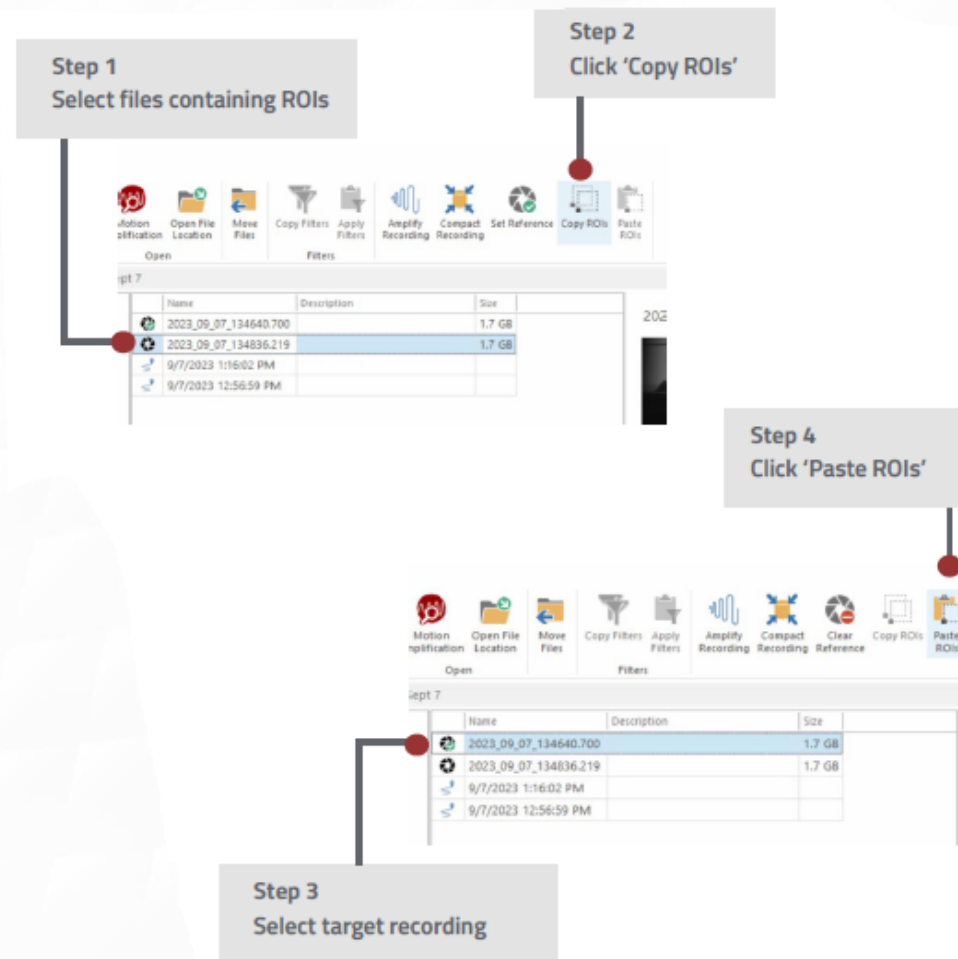
以前撮影した視野に類似する撮影が可能です。





ROIのコピー・ペースト

Set Reference機能を利用し、以前解析したデータのROIの位置をコピーし
同じ位置にコピー・ペーストを行います。

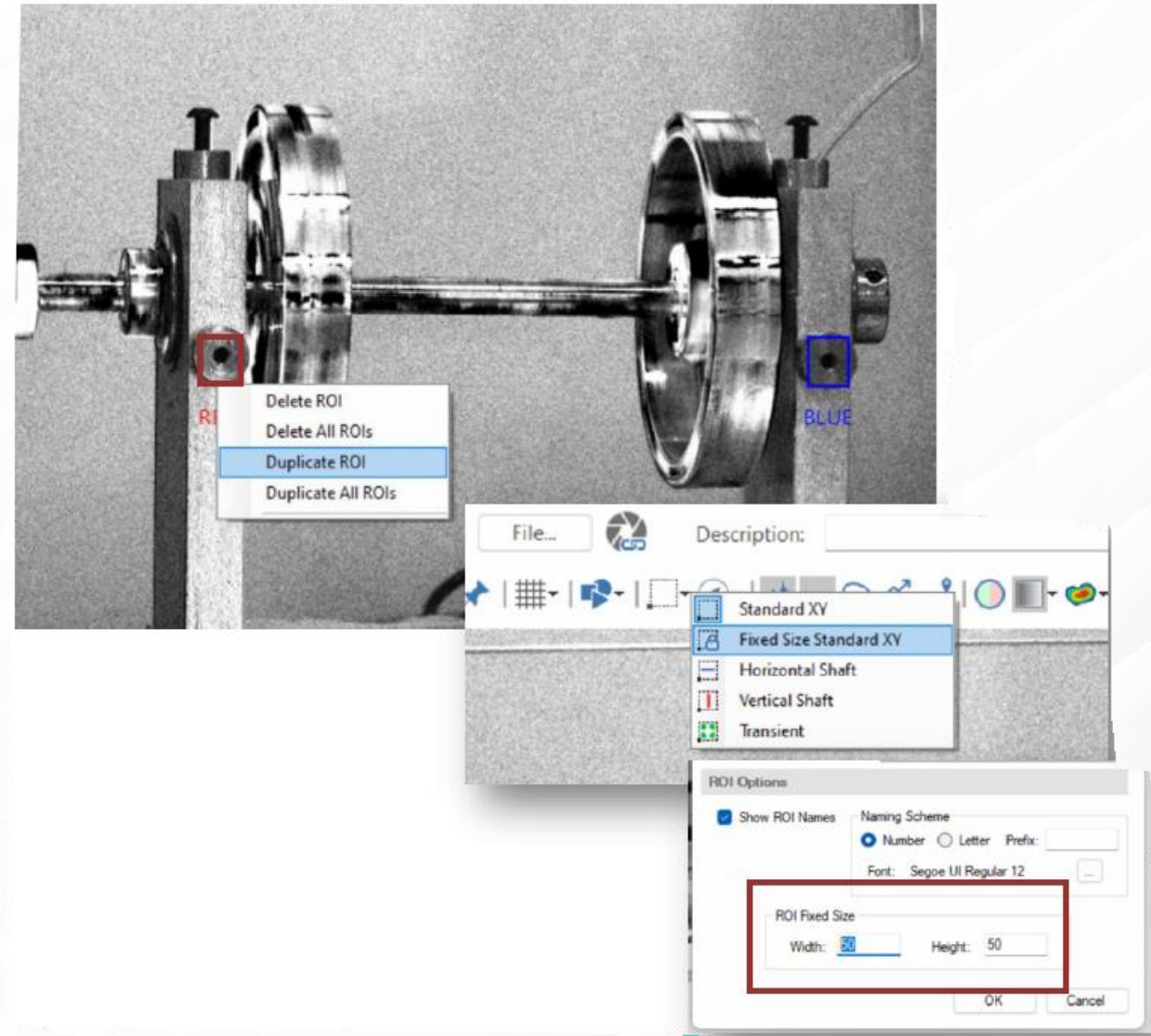


ROIサイズの固定

固定されたROIサイズを設定し、マーキングします。
マーキングした枠のピクセルの変位量を数値化するため
同じサイズでROIを作成できるため、一定した数値化が
見込めます。

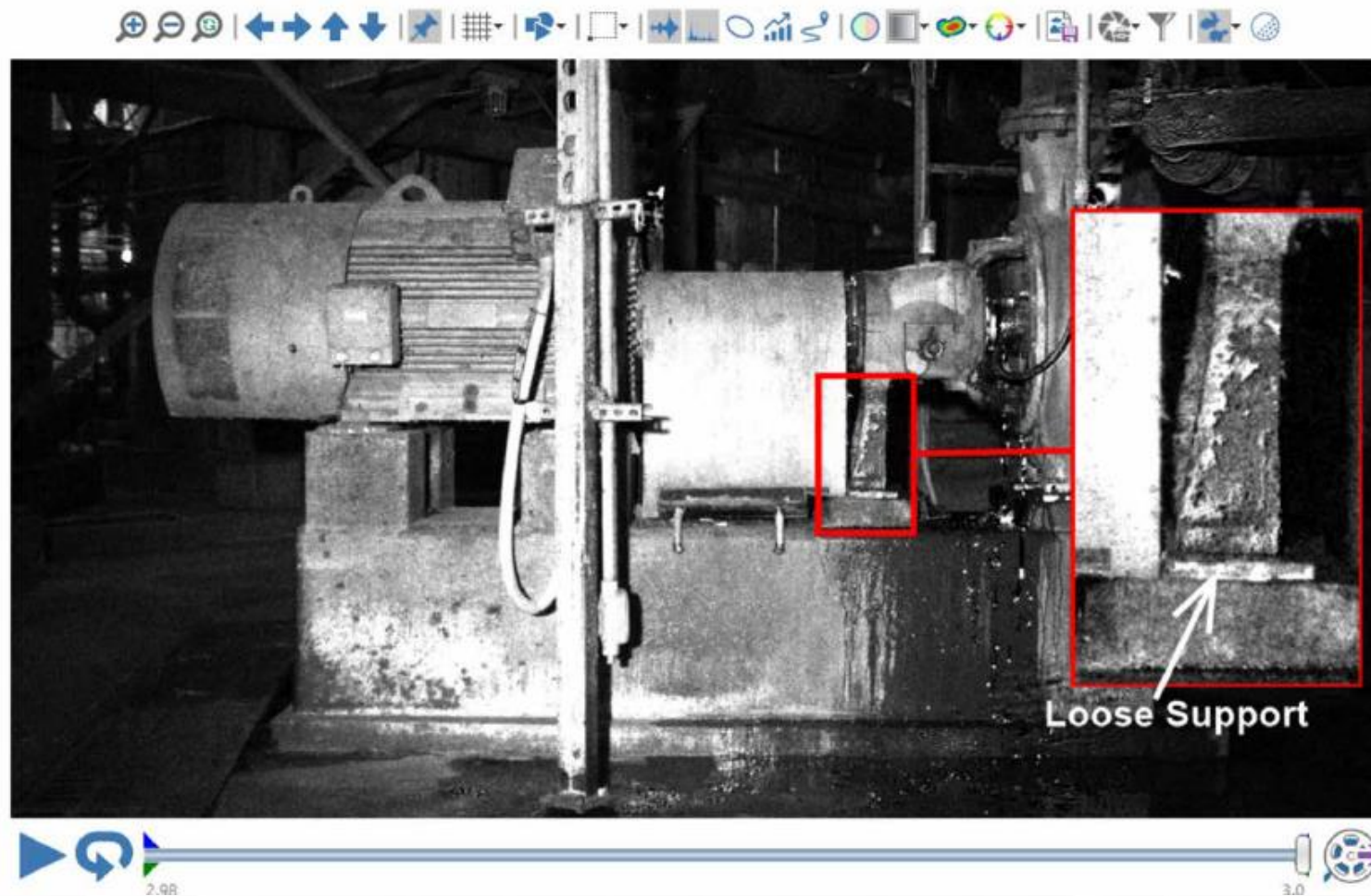
サイズは変更可能

同じサイズでの複製も可能



Zoom Box

注釈のモードにZoom Boxが追加。画面上に枠を作成し、その枠内をズームアップします。
詳細に確認できるのに加え、動画内に表示されるためレポートする際にも利用できます。



V3.8 アップデート内容

2024年3月更新



Modal Amplified

2023年11月リリース：Modal Amplified

固有振動を計測するモーダル測定に特化したハード

Iris Mのカメラを使い、従来のセンサーを多数設置して

計測する方法をROIを利用するので省力化

各モード解析の可視化した動画を表示するので

モードの動きを詳細に確認できます。

参考動画 ↓

<https://www.youtube.com/watch?v=4083H2Dr0EU&t=621s>

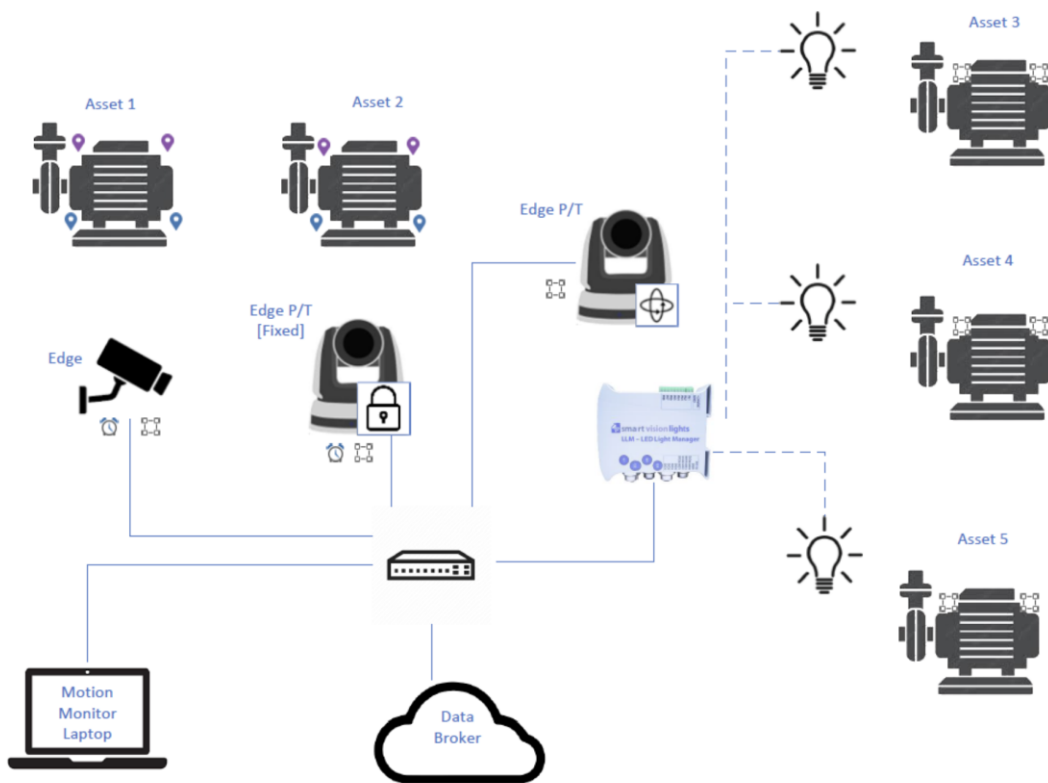


▶▶▶▶ Iris Edge 状態監視カメラ

2024年3月リリース : Iris Edge

状態監視用の監視カメラ型のハードがラインナップ

既存のネットワークを利用し、しきい値を超えた場合に撮影
撮影したデータを、RDIのPCへ転送し解析を行います。



▶▶▶ Iris MX 新モデル

2024年8月リリース : Iris MX 新モデル
最大29000fps, 14500Hzまでデータ取得可能
データ転送が旧モデルより改善されました。



▶▶▶ Iris MX 新モデル

CONTENTS

追加オプションにより、ハンディタイプとなり
データ転送をwifi経由で行います

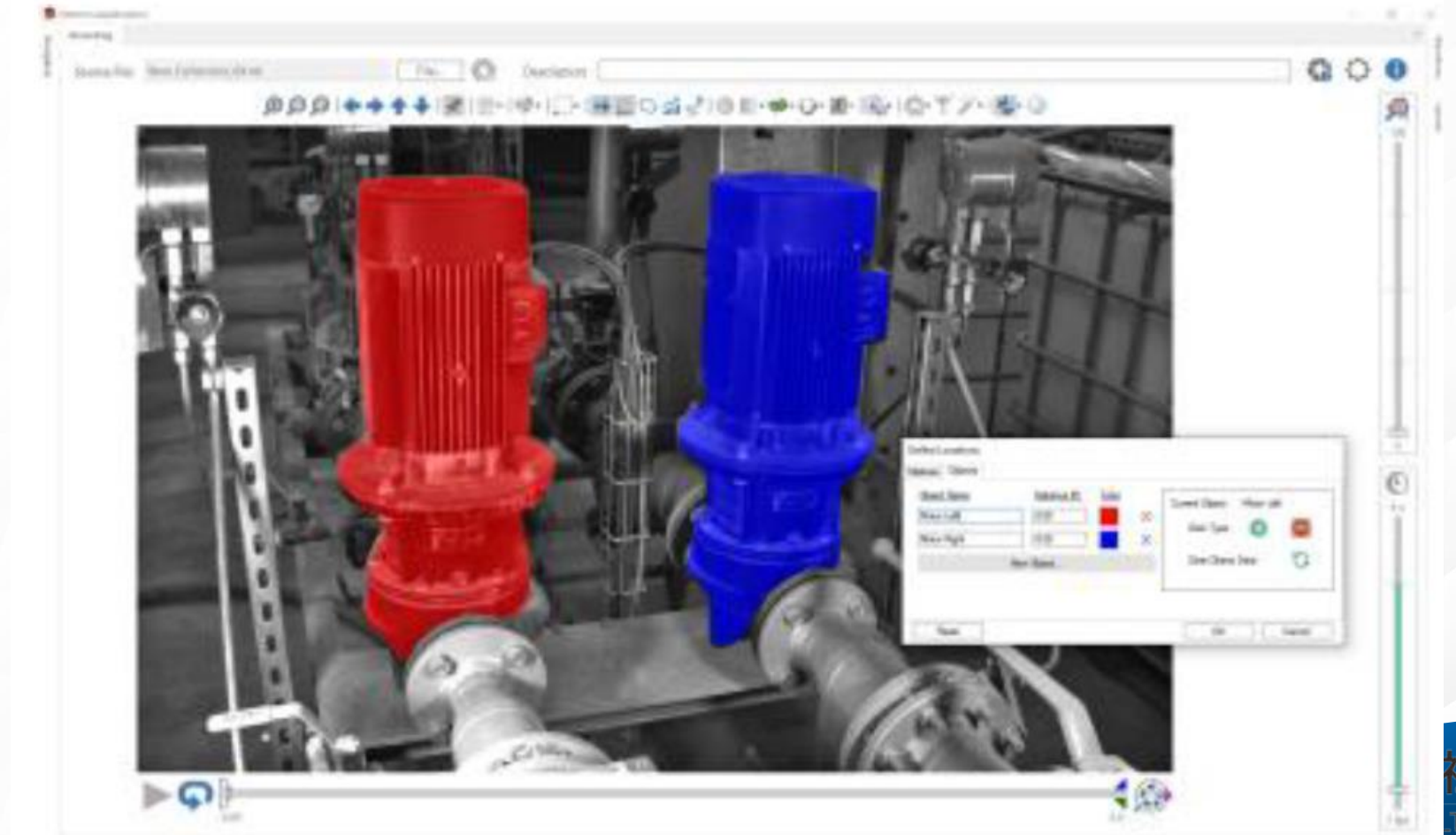


V3.9 アップデート内容

2024年12月更新

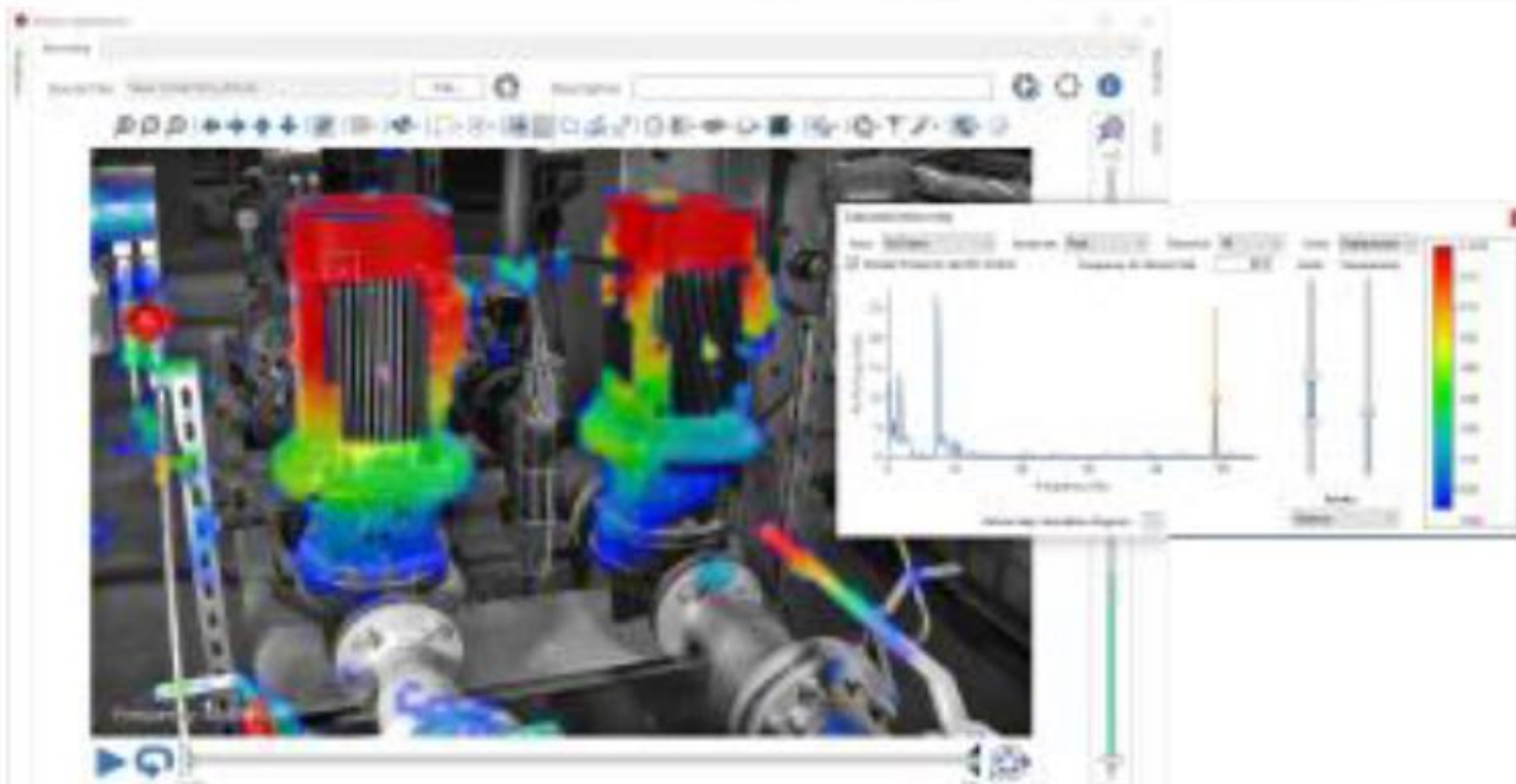
Object Detection

Object Detectionは画面内に選択する範囲を色分けします。
色分けした箇所を詳細に分析するために使用します。



▶▶▶▶ Calibration Motion Map

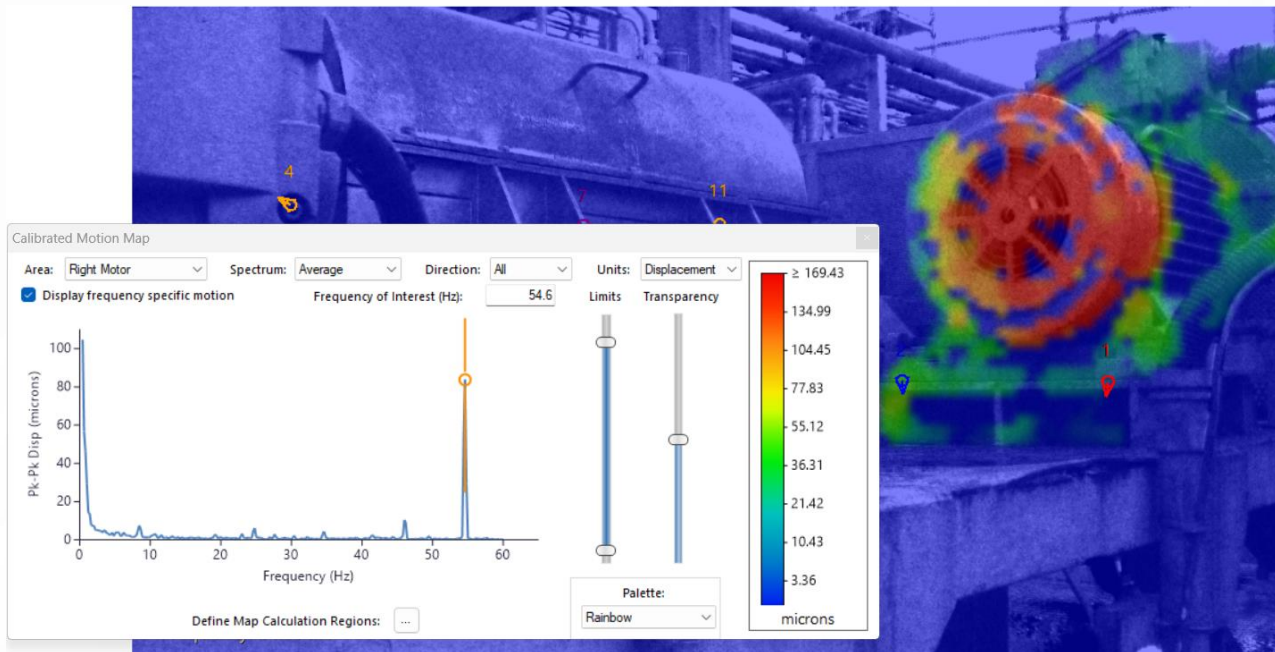
解析画面に指定した周波数帯における、変位量の分布をカラーマッピングする機能





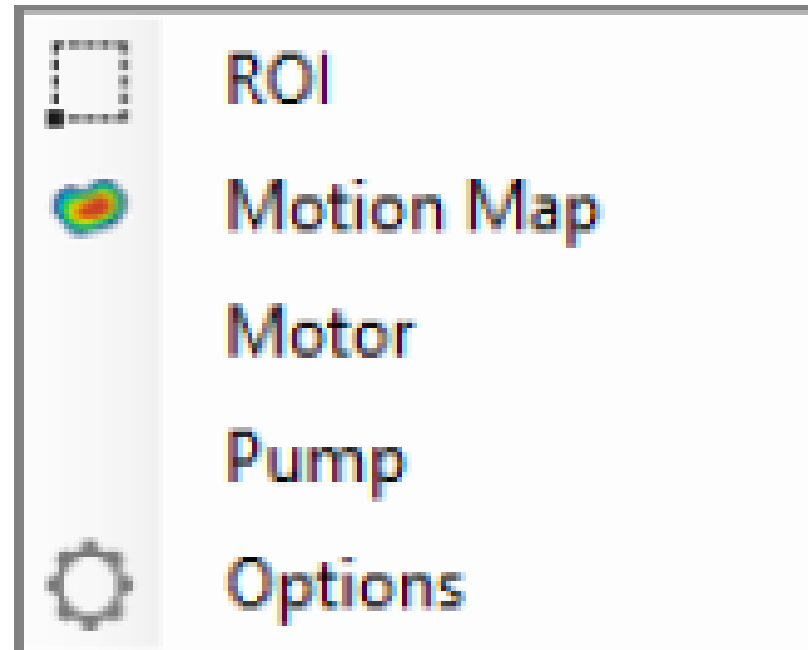
Calibration Motion Map

Object Detectionと組み合わせることで、指定した範囲のエリア（装置）の特定の周波数帯を表示
その周波数帯に含まれる変位量をカラーマッピングします
より具体的なポイントでの変位量解析が可能です



オートHDRフィルタリング

Object Detectionと組み合わせることで、指定した範囲のエリア（装置）の周波数帯のピークを特定
自動的にHDRフィルターを複数かけます



ライブ計測モード

撮影前にライブモードで増幅をかけ、実際の状態を把握できる機能に加えて
ライブ状態でROIを作成し、振動値を計測することができます

